



住まいの支援

令和6年1月31日
令和6年度予算案記者発表



高齢者等住宅確保要配慮者が区内の民間賃貸住宅に円滑に入居できるよう支援

家主の不安を解消し高齢者の民間賃貸住宅の入居を支援

1,440千円

POINT



高齢者が万が一孤立死となった場合の、**家主の損害を補償する保険に区が加入し、家主のリスクを軽減**

区が直接保険に加入し高齢者の居住支援をする取組は都内初！！

民間賃貸住宅の紹介

入居費用の一部助成

必要な方へ
債務保証会社の紹介
初回保証委託料補助



「家主あんしんサポート保険」の開始

- 対象 65歳以上独居等、高齢者のみで構成される世帯と契約する民間賃貸住宅の家主
(家賃上限20万円) ※利用想定世帯数:250世帯
- 保険内容 (万が一の特殊清掃や家賃の下落に備えます。)
家賃損失による損害・家賃減少損失による損害
原状回復費用・事故対応費用

令和6年4月開始

高齢者等住宅確保要配慮者の居住継続支援のために、
「居住支援協議会」の設置準備を行います



1,992千円

住宅確保要配慮者の居住支援について、港区(住宅部門・福祉部門)、不動産関係団体、地域福祉団体等の連携による支援体制を構築します。